

- 問1 九州南部の鹿児島県などに広がる火山灰層からなる台地において、古くから水田稲作があまり行われず、サツマイモや飼料用トウモロコシなどの畑作、および畜産業が発展した理由として、土壌の性質の観点から最も適切な説明を選びなさい。 (2018年 岩手県公立入試 類似)
1. 土壌の浸透性が非常に高く、水田に必要な水を地表に保持しておくことが困難であるため。
 2. 火山灰に含まれる栄養分が多すぎるため、稲が成長しすぎて倒伏してしまうため。
 3. 土壌に塩分が多く含まれており、稲の成長を妨げる性質を持っているため。
 4. 土壌が非常に硬い岩盤状になっており、農作物の根が深く張ることができないため。
- 問2 九州地方南部に位置する宮崎県の農業的特徴について述べた文として、正しいものはどれですか。農産物産出額の内訳や気候条件に着目して答えなさい。 (2023年 長崎県公立入試 類似)
1. 冷涼な気候を利用した「抑制栽培」が盛んで、夏から秋にかけてキャベツやレタスを都市部へ出荷している。
 2. 温暖な気候を活かした畜産業が非常に盛んであり、県の農産物産出額のうち「畜産」が占める割合が約半分に達している。
 3. 瀬戸内の温暖な気候を活かし、ブドウやモモなどの「果樹」の産出額が全国でもトップクラスである。
 4. 広大な平野を活用した稲作が中心であり、農産物産出額の大部分を「米」が占めている。
- 問3 九州地方の各県の産業を比較した統計資料において、豚の飼育頭数やきゅうりの生産量、製造品出荷額が一定の規模を有し、かつ「地熱発電量」が約823百万kWhと非常に多く、全国的にも上位に位置する県はどこか、名称を答えなさい。 (2024年 愛知県公立入試 類似)
1. 鹿児島県
 2. 宮崎県
 3. 福岡県
 4. 大分県
- 問4 鹿児島市中心部の1983年の状況と2004年の状況を比較した際、地図上の表現から読み取れる土地利用の変化として最も適切なものはどれか。 (2020年 群馬県公立入試 類似)
1. 美術館の南側に、開いた本の形をした地図記号で表される図書館が新たに設置された。
 2. 市街地中心部に位置する城山が削られ、大規模な住宅団地として再開発された。
 3. 駅の西側に位置する高等学校の敷地が大幅に拡大され、新たな校舎が建設された。
 4. 沿岸部において埋め立てが進んだが、港湾施設の整備により海岸線の形状に変化は見られない。
- 問5 1960年代の北九州市は、重化学工業の発展に伴って深刻な環境問題に直面しました。この状況を克服し、現在は環境モデル都市として知られるようになるまでに行われた取り組みの説明として、最も適切なものはどれですか。 (2017年 長野県公立入試 類似)
1. 市民、企業、行政が互いに協力し合い、汚染物質の排出規制や技術開発によって改善を進めた。
 2. 全ての工場を市外へ移転させることで、工業都市から観光都市への全面的な転換を図った。
 3. 地震や津波などの自然災害に備え、沿岸部の工場地帯を解体して内陸部へ居住区を移した。
 4. 二酸化炭素の排出を抑えるため、太陽光発電などの再生可能エネルギーのみを全産業の動力とした。
- 問6 九州地方の製造業出荷額において、1980年には鉄鋼や化学が上位を占めていましたが、2000年には電気機械が首位となり、輸送用機械も上位に食い込むようになりました。このように、高度な技術を用いて部品を組み立てることで製品を生産する産業を何と呼びますか。 (2016年 神奈川県公立入試 類似)
1. 加工組立型産業
 2. 知識集約型公共産業
 3. 基礎素材型産業
 4. 生活関連型産業
- 問7 鹿児島県などに広がるシラス台地において、古くから稲作よりも畑作や畜産が盛んに行われてきた理由として、土壌の性質の観点から最も適切な説明はどれですか。 (2017年 大分県公立入試 類似)
1. 非常に水はけが良く、水田に必要な水を蓄えておくことが困難なため
 2. 標高が高く年間を通じて気温が低いため、稲の成長が著しく遅れるため
 3. 土壌に含まれる塩分濃度が高く、稲の根が枯れてしまうため
 4. 河川から運ばれた土砂が固く堆積しており、田を耕すことができないため
- 問8 九州地方の農業について、茶の生産状況を説明した文として正しいものはどれですか。 (2017年 岐阜県公立入試 類似)
1. 鹿児島県は、静岡県に次いで国内で2番目に高い茶の生産量を誇っている。
 2. 九州地方では茶の生産は行われておらず、近畿地方が全国の生産の大部分を占めている。
 3. 福岡県は、三重県や京都府を抑えて国内で最も茶の生産量が多い。
 4. 宮崎県は、九州地方の中で最も茶の生産割合が高い県である。
- 問9 九州地方の長崎県は、内陸県である群馬県と比較して、小学校1校あたりの児童数が少ないという特徴があります。これは、長崎県が持つどのような地理的条件が影響していると考えられますか。適切な記述を選択してください。 (2018年 岩手県公立入試 類似)
1. 平地が少なく急峻な山岳地帯が多いため、大規模な校舎を建てることができない。
 2. 多数の有人離島が存在し、それぞれの島に独立した教育環境を整備する必要がある。
 3. 造船業や水産業が盛んな地域では、職住近接の考えから小規模な学校が好まれる。
 4. 他県からの転入者が多いため、将来の人口増加を見越してあらかじめ多くの学校を設置している。
- 問10 九州地方にある4つの県を比較した資料において、以下の特徴を持つ県の地理的説明として最も適切なものはどれか。なお、この県は九州の北東部に位置し、地熱発電量が約823百万kWhに達しているものとする。 (2024年 愛知県公立入試 類似)
1. 温暖な気候を利用したピーマンやマンゴーの促成栽培が盛んで、平野部ではビニールハウスが多く見られる。
 2. 広大なシラス台地が広がり、豚や肉用若鶏（ブロイラー）の飼育頭数が全国1位である。
 3. 火山による恩恵を活かした地熱発電が盛んであり、きゅうりなどの園芸農業や豚の飼育も行われている。
 4. 北九州工業地帯から続く工業集積があり、自動車産業やIC（集積回路）の生産が非常に盛んである。
- 問11 九州地方の種子島において、宇宙センターの建設やサトウキビの生産といった産業が発達した要因となる、この島の地形的・気候的な背景として最も適切な説明はどれですか。 (2019年 東京都公立入試 類似)
1. 銘柄米の生産に適した広大な平野と、一年を通じて冷涼な気候が維持されていたため。
 2. 島全体に平坦な丘陵が広がっており、大規模な施設の建設や農地の確保が比較的容易であったため。
 3. リアス海岸が発達しており、大型船によるロケット機材の搬入や、寒冷な気候を活かした漁業が盛んであったため。
 4. 標高の高い険しい山岳地帯が島の中央にそびえ、宇宙観測に適した気流の安定した環境があったため。
- 問12 1972年の本土復帰以降における、沖縄県の経済状況の変化を説明した記述として最も適切なものはどれですか。 (2018年 沖縄県公立入試 類似)
1. 県民総所得に占める基地関連収入の割合は、復帰直後の約30%から低下し、近年では5%前後となっているが、県民総所得の総額自体は増加している。
 2. 基地関連収入が県民総所得に占める割合は、復帰直後から一貫して5%前後で推移しており、県民総所得の総額に大きな変化は見られない。
 3. 本土復帰直後の県民総所得は約5兆円であったが、近年は基地関連収入の割合が約30%まで上昇したことで、経済規模が縮小している。
 4. 観光業の衰退により県民総所得は減少傾向にあるが、基地関連収入の割合が5.7%から30.4%へと急増したことで経済が支えられている。